※令和４年度以降入学生用

学校番号	3032

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究（３年）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「精選　古典探究　古文編」「精選　古典探究　漢文編」（三省堂）						
副教材等	「共通テスト＋センター試験 国語過去問題 古典　平成 30～令和７年」（尚文出版）など						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古典探究は、古文や漢文を主体的に読み深めることを通して、日本の伝統的な言語文化への理解や関心を深めることを目的とした探究学習の科目です。

古典の世界はとても豊饒な世界です。そこには遠い昔の作品でありながらも同じ日本語によって表現された世界が広がっています。そのような古典を深く読むことによって、長い時間を飛び越えてそこに暮らした多くの人々の文化や生活、そして意識や考え方を、厚みを持って感じることができます。しかしそうした豊かな経験をするためには、古典を正しく読む力が不可欠です。そのためにみなさんは、２年次までに基礎事項を学び、そして新たな知識・技能も身に付けてきました。３年次では、その力をより確かなものにするとともに、古典の世界への認識を深めることをめざします。

学習の基本は授業です。その授業を実りあるものにするためには予習・復習が不可欠ですが、３年次では自分の進路を見据えて、古典探究の意義を見失うことなく計画的に日々の学習に取り組むことを心がけてください。そうした主体的な学習を通して見出した古典の世界は、言葉の力によってあなたの未来へと必ずつながっていくことと思います。

2　学習の到達目標

（1）古典を読んで思想や感情を的確にとらえ、作品の価値について考察し、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（2）古典に親しむことによって豊かに想像する力を伸ばし、先人のものの見方や感じ方との関わりの中で伝え合う力を高め、自らの思考を広げたり深めたりすることができるようにする。
（3）伝統的な言語文化に対して関心を持ち、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	・漢文学における作者の主張を理解し、文章表現に留意しながら内容を読み解く。 ［教材］ 「捕蛇者説」	a：本文中の語句の意味や用法を理解し、読解に必要な語彙を増やしており、作品の特徴や内容について理解している。 b[読]：状況や句形を踏まえて内容や心情を的確に捉えている。 c：作品の特徴を理解した上で、語句の意味や用法をおさえながら、人物関係や展開を的確にとらえようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	・歴史物語の書き手の意図をとらえながら物語の流れを把握する。 ［教材］ 『大鏡』 「最後の除目」「道長と詮子」	a：本文中の語句の意味や用法を理解し、読解に必要な語彙を増やすとともに、歴史物語の特徴を理解している。 b[読]：語句の理解を踏まえて人物関係や人物像を読み取り、物語の内容を把握している。 c：語句の意味や用法および歴史物語についての理解を踏まえて書き手の意図や考えを捉えて内容を解釈しようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	・中国の小説を読み解く。 ［教材］ 「桃花源記」	a：中国文学における小説の特徴を理解するとともに、文語のきまりや訓読のきまりについて理解し、身に付けている。 b[読]：漢文訓読のリズムに慣れ親しみつつ、文意や人物の心情を的確につかもうと読み進めている。 c：文語や訓読のきまりについての理解をもとにしながら、文意を的確につかもうとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	・いろいろな古典作品に触れ、論理的思考を主体的に獲得する。 ［教材］ 「和泉式部と清少納言」 「無名草子」	a：文語のきまりや訓読の仕方について理解し、読解に必要な語句の意味を的確に捉えることができる。 b：[読]状況をおさえて文章の展開を正確に追い、主語述語のつながりや修飾関係、和歌について正しく捉えることができている。 c：語句や文法の知識を活かして文章の展開を正確につかもうとしている。	小テスト 定期考査	行動の観察 定期考査	ワークシート
	・漢詩の世界の広がりを味わう。 ［教材］ 「春夜」 「送友人」 「送僧帰日本」 「長恨歌」	a：漢詩の構成や展開の仕方、言葉の響きなどの特色について理解を深めるとともに、中国文学と日本文学との関係について理解する。 b[読]：漢詩の表現の特色を踏まえて、漢詩の内容をつかむとともに、中国文化と日本文化の関係について考えを広げる。 c：漢詩の表現について理解を深め、漢詩の内容を深く理解しようとするとともに、中国文化と日本文化との関係についての考えを広げようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	・源氏物語の特徴を踏まえて、書かれている内容や心情を的確に解釈する。 ［教材］ 『源氏物語』 「明石の君の苦悩」 「浮舟と匂宮」	a：読解の上で必要な語句の意味や敬語の用法について理解を深めるとともに、文脈の中で語句の意味を捉える重要性を理解している。 b［読］：物語の構成や人物関係を的確にとらえ、内容や心情を正しく解釈している。 c：描かれている情景や心情の推移などについて、物語の展開を確かめるとともに他の作品との関連から内容理解を深めようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	・書き手の考えや書かれている人物の考えを読み解く。 ［教材］ 「俊成髄脳」	a：読解に必要な語句や文語のきまり、歌論書の特徴について理解している。 b［読］：文章の種類を踏まえて、人物の考えや書き手の考えを読み解いている。 c：敬語の用法や歌論書の特色を踏まえて人物の考えや書き手の考えを読み解こうとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	・いろいろな古典作品に触れ、論理的思考を主体的に獲得する。 ［教材］ 平成 30 年本試『石上私淑言』『続資治通鑑長編』 平成 30 年追試『鳥部山物語』『日知録』 令和 2 年本試『小夜衣』『文選』 令和 2 年追試『桃の園生』	a：文語のきまりや訓読の仕方について理解し、読解に必要な語句の意味を的確に捉えることができる。 b：［読］文章の種類に応じて文章の展開を正確に追い、主語述語のつながりや修飾関係、和歌について正しく捉えることができている。 c：語句や文法の知識を活かして文章の展開や内容を正確につかもうとしている。	小テスト 定期考査	行動の観察 定期考査	ワークシート
	・中国の史伝の表現を味わいながら読み、展開を的確につかむ。 ［教材］ 『史記』 「廉頗と藺相如」	a：漢文の句法や語法の知識を深めるとともに、司馬遷の文体の特徴や文章の構成、展開について理解を深めている。 b［読］：漢文のリズムや表現を味わいながら、展開や人物の心情を理解し、考えを深めている。 c：漢文の句法や語法の知識を深めつつ、漢文特有のリズムや表現を味わいながら展開をつかもうとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	・いろいろな古典作品に触れ、論理的思考を主体的に獲得する。 ［教材］ 令和 3 年本試『栄花物語』『千載和歌集』『欧陽文忠公集』『韓非子』 令和 4 年本試『増鏡』『とはずがたり』『揅経室集』 令和 5 年本試『俊頼髄脳』『散木奇歌集』『白氏文集』	a：文語のきまりや訓読の仕方について理解し、読解に必要な語句の意味を的確に捉えることができる。 b：［読］文章の種類に応じて文章の展開を正確に追い、主語述語のつながりや修飾関係、和歌について正しく捉えることができている。 c：語句や文法の知識を活かして文章の展開や内容を正確につかもうとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
3学期	・評論を踏まえて和歌の内容を読み味わう。 ［教材］ 「無名抄」	a：語句の意味や用法に関する知識を増やすとともに、和歌や俳句に対する理解を深めている。 b［読］：書き手や人物の考え方や感じ方を理解するとともに、自らの考えを広げ、深めている。 c：評論に書かれたものの見方・感じ方を理解し、自らの考えを広げ、深めようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

3学期	・文章の成立した背景を踏まえて書き手の考えをとらえ、自らの考えを深める。 ［教材］ 「漁夫辞」	a：漢文の句法や語法の知識を深め、文章の成立した背景を理解し、文章の構成、展開について理解を深めている。 b［読］：文章の論理展開を的確に捉えて解釈するとともに、自らのものの見方考え方を深め、広げている。 c：文章の成立した背景への理解を踏まえて、自らの考えを深めたり広げたりしようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［ｂ］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　――　）時間

・書くこと　…　（　――　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間